

ごあいさつ

本日は、岩手県立大船渡高等学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は、昭和 24 年(1949 年)、岩手県立盛農業高等学校に普通科が設置され、校名も盛高等学校と改称されたことをもって創立の年とし、現在に至るまで 1 万 5 千名余の卒業生を世の中に送り出しています。

岩手県沿岸南部の気仙地域の中核校として、「気仙の雄」、「沿岸の雄」と称され、また、地域の皆様方からの親しみを持って「大高(だいこう)」と呼ばれ、多くの方からのご理解とご協力を賜りながら、県内外で活躍する有為な人材の育成に邁進して参りました。

生徒が「大高の元気は地域の元気」をスローガンに志を高く持ち、学習・部活動・課外活動に積極的に取り組み、互いの個性を温かく受容し思いやりに溢れる姿は、美しくもあり、未来を担う者として頼もしく感じます。

校訓の「自主独立」が示す、「自分の力と意志で、自分の責任において、物事を成すということ」は、まさに、先行き不透明で多様化する現代社会において、たくましく生きること、主体的に挑戦していくことに繋がっていくに違いありません。

本校の校章のデザインのもととなっている正門の両脇にそびえ立つ銀杏のように、生徒が力強く成長し、末永く活躍するために、本校における教育も、しっかりと根を張りながら成長する大樹のようであればならないと肝に銘じています。

ここ大船渡の地は、11年前の東日本大震災津波により、未曾有の甚大な被害を受けましたが、国内外からの数多くの温かいご支援とご声援によって、立ち上がることができました。これまで頂戴しましたご支援、ご声援に対しまして、改めて心より感謝申し上げます。未だ復興途中ではありますが、着実に前進し、新たな装いを日々実感できています。

このような中であって、本校はさまざまな教育課題と向き合いながら、これからも地域の期待に応えられる高校としての役割を果たすべく、教職員一同力を合わせて教育活動に専念して参る所存です。今後とも、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

岩手県立大船渡高等学校 校長 熊谷 賢児